

主な特長

- ・ドラム・スティックや手で叩いたり、足で踏んだりして演奏できる、電子パーカッション・パッドです。
- ・パソコンで作成したドラム・サウンドや効果音、曲などのオーディオ・ファイル（ウェーブ）を本機に取り込んで、鳴らすことができます。
- ・クリック用にウェーブとは別のオーディオ・ファイルを用意することで、クリック音をリズム・ガイドとして利用することができます。
- ・演奏の邪魔にならないコンパクトなデザインで、市販のパーカッション・ホルダーに取り付けて使えます。

各部の名称とはたらき

トップ・パネル

ウェーブつまみ
ウェーブを選びます。つまみを回してウェーブを切り替えます。
※ ウェーブの切り替え時（インジケーター点滅中）は、音が鳴りません。

[PHONES] つまみ
PHONES 端子に接続したヘッドホンの音量を調節します。

[MIX] つまみ
ヘッドホンから聞こえるウェーブとクリック音の音量バランスを調節します。
CLICK 側に回す ヘッドホンから聞こえるウェーブの再生音が小さくなります。
MASTER 側に回す ヘッドホンから聞こえるクリック音が小さくなります。

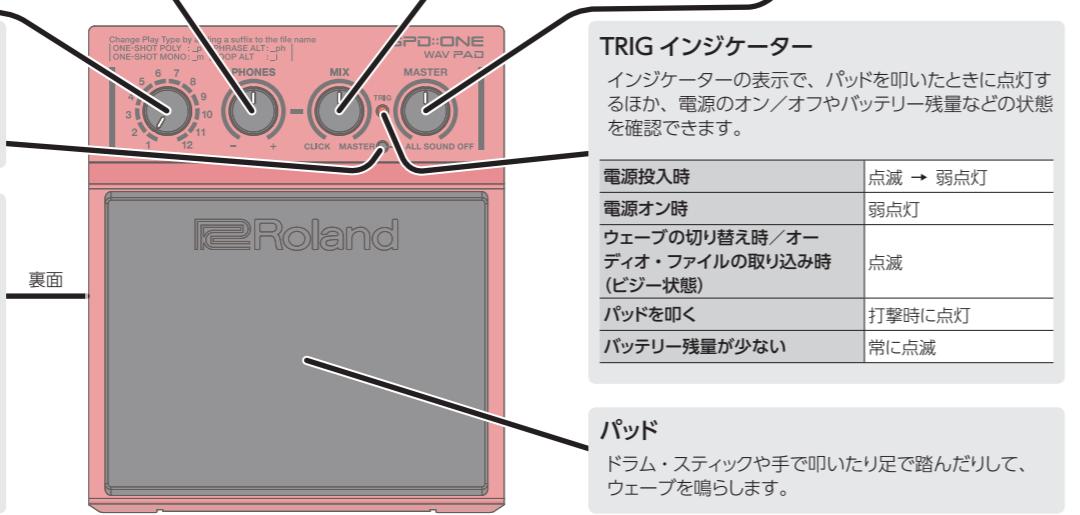
[MASTER] つまみ
MASTER OUT (STEREO) 端子から出力される音量を調節します。

[ALL SOUND OFF] ボタン
鳴っているすべての音を停止します。

電池ボックス（裏面）
電池を使用するときは、電池の向きに注意して、単3形電池を4本入れてください。

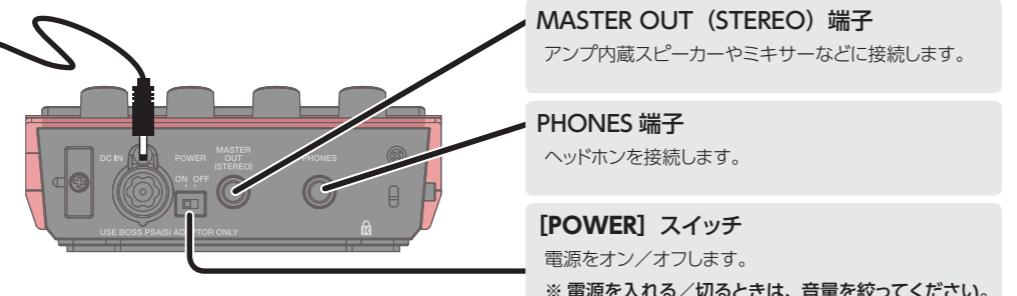
※ TRIG インジケーターが常に点滅しているときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。「安全上の注意」「使用上の注意」チラシに記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。



リア・パネル

DC IN 端子
AC アダプター (PSA-100S: 別売) を接続します。AC アダプターを使用すれば、電池切れの心配をせずに長時間の演奏ができます。
※ AC アダプターは、必ず指定のもの (PSA-100S: 別売) を、AC100V の電源で使用してください。
※ プラグの先をしっかり奥まで差し込んでください。
※ 電池が入っている状態で AC アダプターを接続すると、電源は AC アダプター側から供給されます。
※ AC アダプターを使用する場合でも電池を入れておくと、万一製品本体から AC アダプターのコードが抜けても演奏が続けられます。



サイド・パネル

[SENS] つまみ
パッドの感度 (SENSITIVITY) を調節します。
左に回す 感度が低くなります。
右に回す 感度が高くなります。（弱く叩いたときだけ反応します）



[THRES] つまみ
ある一定以上の強さで叩いたときだけ反応するように、パッドの最低感度 (THRESHOLD) を調節します。
※ 調節のしかたについては、「使いたいのヒント」をご覧ください。



本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に別紙の『安全上の注意』と『使用上の注意』をよくお読みください。
お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

© 2017 ローランド株式会社

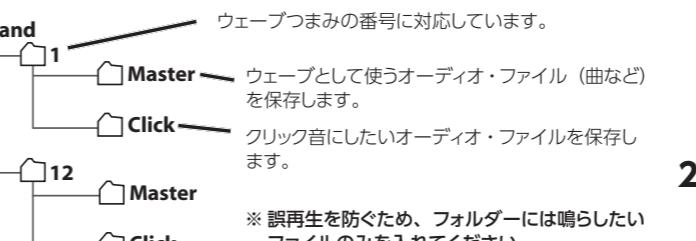
ウェーブを用意する

パソコンのオーディオ・ファイルを本機に取り込んで、ウェーブにします。
※ 本機とパソコンをマイクロ USB ケーブルで接続してください。

1. 本機に取り込むオーディオ・ファイルを用意します。

本機で再生できるオーディオ・ファイル
(WAV 形式ファイル、44.1kHz、16 ビット)

2. パソコン画面のローカルに表示される Roland フォルダー内に、オーディオ・ファイルをコピーします。



※ Click フォルダーに保存したオーディオ・ファイルは MASTER OUT (STEREO) 端子からは出力されません。

メモ

ウェーブとクリック音は同時再生されるので、クリック音を用意しておけば、ウェーブの再生に合わせて（同期して）ドラムを演奏したいときに、クリック音をリズム・ガイドとして利用することができます。

音を重ねて鳴らすなど、より複雑な鳴らしかたをしたい場合は、以下の URL から「追補」マニュアルをご覧ください。
<http://www.roland.co.jp/manuals/>

3. ウェーブの鳴らしかたを設定します。

手順 2 でコピーしたオーディオ・ファイルの名前をパソコンで編集することで、鳴らしかたを以下のように設定できます。

※ 鳴らしかたの設定をしない場合は、自動的に ONE-SHOT POLY が適用されます。

プレイ・タイプ	ファイル名	説明
ONE-SHOT POLY	XXX_p.wav	パッドを連打したとき、前の音に重なって発音します。
ONE-SHOT MONO	XXX_m.wav	パッドを叩いたとき、前の音を消音して発音します。音を重ねずに発音します。
PHRASE ALT	XXX_ph.wav	パッドを叩くと再生し、もう一度叩くと停止します。曲の再生／停止に最適です。
LOOP ALT	XXX_l.wav	ウェーブを繰り返し鳴らします。パッドを叩くと再生し、もう一度叩くまで繰り返し再生します。

※ ONE-SHOT POLY / ONE-SHOT MONO は、叩く強さに応じて音量が変わります。

※ PHRASE ALT / LOOP ALT は、誤発音防止のため最低感度が自動的に最適な値になります。

4. 本機とパソコンの接続を解除します。

※ 必ずパソコンとの接続を解除してからマイクロ USB ケーブルを抜いてください。パソコンの処理中にケーブルを抜くと、データが破損する場合があります。

使いたいのヒント

・ドラム・スティックで叩く場合と手で叩く／足で踏む場合とで、パッドの感度 (SENSITIVITY) を変える必要があります。

・ドラム・スティックで叩く 感度 (SENSITIVITY) を下げる

・手で叩く／足で踏む 感度 (SENSITIVITY) を上げる

・アコースティック・ドラムを使うなど、大音量の音が鳴る環境では、外部からの音や振動で、叩いていないときに音が鳴ることがあります。以下の方法で、誤発音を防ぐことができます。

・パーカッション・ホルダーを取り付ける位置や角度を調節して、振動の元から距離をとる

・最低感度 (THRESHOLD) を上げる

スタンドに取り付ける

本機をシンバル・スタンドなどに固定して使う場合は、付属のアタッチメントを取り付け、市販のパーカッション・ホルダーに固定してください。

1. 付属のアタッチメントを、本機に取り付けます。

アタッチメントの向きによって、パーカッション・ホルダーに固定するサイドを選べます。パーカッション・ホルダー取り付けネジ式（ナット、ボルト、ワッシャー）をアタッチメントに取り付け、付属の取り付けネジ（2 つ）で確実に固定します。

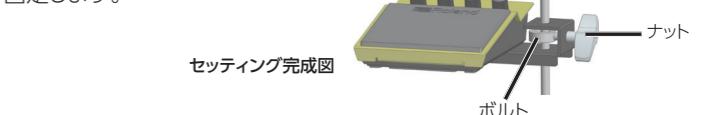


2. 本機を固定したい場所（シンバル・スタンドなど）に、市販のパーカッション・ホルダーを取り付けます。

※ 取り付け可能なパーカッション・ホルダーのロッド径: 8.0 ~ 12.7mm

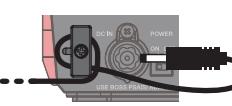
3. 本機をパーカッション・ホルダーに固定します。

ボルトの輪の中に、パーカッション・ホルダーのロッドを通して、ナットで固定します。



コードフックを使う

AC アダプターは、図のようにコード・フックを使って固定してください。ドラム・スティックとの接触や打撃の衝撃により、意図せずプラグが抜けることがあります。



故障かな?と思ったら

症状	対処
音が鳴らない	電源 ([POWER] スイッチ)、ボリューム ([MASTER] / [PHONES] / [MIX] つまみ) を確認してください。 TRIG インジケーターが高速点滅し続ける場合は、メモリー エラーです。お買い上げのお店、または、ローランドお客様相談センターにお問い合わせください。
弱く叩いたときに反応しない	最低感度 (THRESHOLD) を下げてください。
MASTER OUT (STEREO) 端子に接続した機器の音が鳴らない／小さい	接続しているアンプ内蔵スピーカーの電源、ボリュームを確認してください。 接続しているケーブルが断線している可能性があります。ケーブルを交換してください。

主な仕様

ローランド SPD:ONE WAV PAD (SPD-1W) : 電子パーカッション・パッド

連続使用時の電池寿命	充電式ニッケル水素電池 約 7 時間（通常演奏での使用時） アルカリ電池 約 4 時間（最大負荷での使用時）
外形寸法	140 (幅) × 160 (奥行) × 56 (高さ) mm (アタッチメント含まず)
質量	900g (電池含む、アタッチメント含まず)
付属品	取扱説明書 (本書)、『安全上の注意』チラシ、アタッチメント、アタッチメント取り付けネジ×2、パーカッション・ホルダー取り付けネジ式 (ナット×1、ボルト×1、ワッシャー×2)、アルカリ電池 (単3形) × 4
別売品	AC アダプター (PSA-100S)、マイクロ USB ケーブル

本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。